えんばい朝市開催事業

No. 4

おいしい舞阪まるごと体験フェア

9月22日　箕輪町交流（ポットマム贈呈と駅伝大会参加）

No. 5

9月22日（金曜日）朝8時より西区庄内学園にて、生徒さんが大切に育てた「ポットマム」を受け取り、箕輪町役場に直接届けて贈呈式を行うため、メンバーの2名が、駅伝大会に参加する選手や補助員より一足先に出発しました。
後発メンバーは、箕輪町の名所であります「赤そばの里」に訪れたり、大会後は、選手と共に『リンゴ狩り』も楽しみ、全員笑顔のもと無事帰ってきました。

後日観覧を公開します。

箕輪町中学校卒業生花束贈呈

３月１７日（日）、交流会の皆さんが長野県箕輪町の中学校卒業生に庄内地区特産品であるガーベラの花束記念品贈呈に出かけてきました。因みに、浜松市庄内地区はガーベラ生産量が日本１位です。

また、ガーベラの花言葉は『希望』です。卒業生には大きな希望に花を咲かせていただきたいです。

箕輪町中学校卒業生の皆さんおめでとうございます。

文化財保存活用事業

家康公ゆかりの中村家住宅に立ち寄って観るのじゃ！ vol.2

戦国武将　辞世の句（浜松大平台高校・浜松湖南高校・浜松湖東高校書道部作品）
10 月 27 日～29 日展示

高校生によるミニコンサート（浜松湖南高校吹奏楽部）10 月 29 日

高校生によるミニコンサート（浜松湖東高校吹奏楽部）10 月 29 日

高校生によるお茶会：浜松湖南高校茶道部＜裏千家流＞・浜松大平台高校茶華道部＜宗偏流＞、
（10 月 28 日・29 日）

高校生による生け花展：浜松湖南高校華道部＜池坊＞・浜松大平台高校茶華道部＜小原流＞
（10 月 27 日～29 日）

ERIKO 凱旋ミニコンサート（10 月 28 日）
「The Roots vol.3 ～和火を探して」

歴史講演会　＜植松三十里氏：家康と秀康の親子をめぐる謎＞
（10 月 29 日）

中村家住宅庭園解説　＜大井豊氏：日本庭園研究会理事＞
（10 月 29 日）

中村家住宅解説（随時開催）

雄踏の文化財写真展の開催（雄踏図書館）10 月 1 日～12 月 3 日
「中村家住宅国指定 50 周年記念」

中村家の歴史

中村家の初代中村正範は源範頼の末裔の武士で大和国広瀬郡中村郷に住んだ。文明13年(1481)には、14代正貫が今川氏に招かれ、遠江国磐田郡大橋郷に領地を賜り、その後敷知郡和田、平松、宇布見、山崎、大白須の五郷が与えられ、文明15年(1483)宇布見に屋敷を構えた。16世紀の今川氏の時代には、同氏の家臣で代官を勤め、浜名湖の軍船を支配した。

永禄11年(1568)に徳川家康が遠江に入国した時、18代正吉は船を出して迎えるなどの御用を果たし、徳川氏に仕え今切軍船兵糧奉行や代官を勤めていた。こうした関係から天正2年(1574)2月8日に徳川家康の側室お万の方が家康の第二子である於義丸(後の結城秀康)を当屋敷で出産し、その時の胞衣(後産)を埋めた胞衣塚が現存している。

天正18年(1590)徳川家康が関東へ移った時に、18代中村源左衛門正吉は宇布見村に残った。

江戸時代には庄屋を勤めていたが、藩祖を結城秀康とする越前福井藩や津山藩から士分格として知行を得ると共に越前松平家一門、浜松藩主から、於義丸誕生の御殿や胞衣塚修繕の名目で金銀が下賜されていた。また、徳川御三家、老中、大坂城代、京都所司代の諸大名たち及び越前松平家一門の大名が東海道を通行する際に、中村家歴代当主が御目見をしていた。このように徳川氏との関係で格式の高い家柄であるため、一般の庄屋たちとは異なって、浜松城主と単独で拝謁できる古くからの独礼庄屋であった。

明治維新時の28代貞則は、討幕軍を警固する遠州報国隊の結成に尽力し、郷社の神官を勤め、五等郵便局も開設した。29代正意(東海)は神職となり当地方の精神的な支柱として住民の尊敬を集め、東海様と呼ばれた。30代正輔は服部・中村養蠶場をはじめ、明治35年(1902)には宇布見郵便局長に就任している。31代幸八は昭和24年(1949)から衆議院議員として長く政界で活躍した。

中村家住宅配置図

※現在の主屋の建築年代は貞享5年(1688年)

於義丸の生涯

家康の次男【結城秀康】

結城秀康(ゆうき ひでやす)
【1574年～1607年】

安土桃山時代から江戸時代初期の大名、越前国福井藩初代藩主。徳川家康の次男、母は側室お万の方。

天正2年(1574)遠江国(雄踏町宇布見)中村家にて出生。幼名は於義丸(おぎまる)。11歳で小牧・長久手の戦い講話後、羽柴(のち豊臣)秀吉の養子(実質は人質)となり、羽柴秀康と称した。初陣は同15年、14歳で秀吉九州出陣のとき。17歳で秀吉の命により結城晴朝の養子となって下総国結城10万1000石を治め、結城秀朝と改めたが、のち秀康に復す。

慶長5年(1600)27歳の関ヶ原の戦いに際しては、下野国宇都宮に出陣して、上杉景勝の西上を阻止した。この功により越前一国68万石を拝領、加賀前田家に対する抑えの役目も負った。翌年9月、28歳で北庄城に入部。北庄城(福井城)の新築と城下町の基盤づくりにおよそ6年の歳月をかけて尽力した。慶長12年(1607)、34歳で亡くなる。

結城秀康の騎馬石像
(福井県庁舎前広場)

交通アクセス

- バス　浜松駅から宇布見山崎線「宇布見領家バス停」下車 南へ徒歩1分
  舞阪駅から志都呂宇布見線「宇布見マリーナ入口」下車 北へ徒歩5分
- 電車　東海道本線舞阪駅下車　北へ徒歩20分
- お車　東名浜松西インターから南へ15分

観覧のご案内

- ◆開館時間　午前9時30分～午後4時30分 ※入館は午後4時
- ◆開 館 日　金・土・日曜日・祝日 ※12月28日から1月4日を除く
- ◆観 覧 料　おとな：200円　70歳以上：無料
  高校生：100円　こども(中学生以下)：無料
  団体(おとな)：20人以上は1人160円
  80人以上は1人120円
  身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は本人・その介護者1人：無料
  ミライロIDもご利用いただけます

お問い合わせ

ゆうとうまちづくり協議会
事務局：雄踏協働センター　TEL.053-596-1121

中村家住宅 ◆所在地：〒431-0102 静岡県浜松市西区雄踏町宇布見4912-1
◆事務所：TEL.053-596-5585

令和5年度　浜松市西区地域力向上事業

結城秀康 生誕450周年 & 重要文化財 中村家住宅 国指定50周年記念

家康公ゆかりの中村家住宅に立ち寄って観るのじゃ! vol.2

重要文化財

今、蘇る時を超え!! 家康公ゆかりの 中村家住宅

徳川家康の側室お万の方が次男の於義丸(後の結城秀康)を産んだ屋敷

昭和48年(1973)6月2日国指定

中村家住宅観覧料必要
※裏面参照

同時開催 各種イベント

令和5年 10月
27日(金)・28日(土)・29日(日)

高校生による **お茶会・書道展**

生け花展・ミニコンサート

ERIKO 凱旋ミニコンサート

歴史講演会 植松 三十里 氏
家康と秀康の親子をめぐる謎

その他 いろいろ!!

胞衣塚 えなづか (市指定文化財)
徳川家康の次男(於義丸、後の結城秀康)が、この中村家で生まれ、その胞衣(後産)を埋めた塚。塚上の梅の木は、徳川家康のお手植えと伝えられ、数代を経ている。

長屋門に繋がる 清楚な白壁

長屋門（ながやもん）（市指定文化財）

江戸時代、式台や玄関と同じように一定の格のある家に建てられたもので、安永4年（1775）、屋敷南側に建築された。その後、屋敷東側に移設した。

建物の概要

主屋の規模は、桁行（間口）21.3m、梁間（奥行）11.2m、平面積238.56㎡と大規模で、屋根は寄棟造の茅葺（茅材は葭）である。

特徴的なのは、棟通りと梁間方向中央の柱通りを揃え、これを境として、桁行方向に部屋が食い違いの配置になっていることである。

主屋の構造は、側柱（外回りの柱）は省略せず、部屋境は2カ所を除いて柱を1間ごとに、礎石の上に直接立て、おもに貫で相互の連結がはかられている。

以上のほか、主屋の特徴としては、柱の面取りに規則性があること、3間四方の部屋が南側と北側にそれぞれあること、納戸構・押板・格子窓といった古民家に共通するものを備えることなどがあげられる。

天井の梁組

室内の多くの柱の中には、長方形の尺角の柱が混じり、太く曲がった梁組、板戸や障子など、内部の印象は極めて重厚な感じをうける。

銅版画

明治25年に発行された銅版画で、長屋門脇の土塀・天神宮・裏門前近などが現在と変わっている。

※静岡県明治銅版画風景集 復刻より掲載

各種イベント開催!! プログラム ～ご案内～

◎歴史ファミリーウォーク 10月27日(金)～29日(日) 10時～16時（参加賞あり）

お茶会（参席無料）

- 10月28日(土) 10:00～14:00 ＜宗徧流茶席＞ 浜松大平台高校 茶華道部
- 10月29日(日) 10:00～14:00 ＜裏千家流茶席＞ 浜松湖南高校 茶道部

ミニコンサート

- 10月28日(土) 14:00～15:00 **ERIKO 凱旋ミニコンサート** ※入場制限する場合がございます
- 10月29日(日) 11:00～12:00 ・浜松湖東高校
- 各校吹奏楽部 13:00～14:00 ・浜松湖南高校

10月27日(金)・28日(土)・29日(日) 9:30～16:30

歴史に残る戦国武将 辞世の句
浜松湖南高校、浜松湖東高校、浜松大平台高校 各校書道部

生け花展 浜松湖南高校 華道部、浜松大平台高校 茶華道部
★2024年浜名湖花博20周年に向けて花の都浜松を盛り上げる若者たちの感性

中村家住宅庭園解説 講師／大井 豊 氏（日本庭園研究会理事）
10月29日(日) 10:00～・11:00～（約30分）
本住宅で誕生した於義丸（後の結城秀康）が、竜のように力強く成長し、出世することを願い作られたであろうと推測される中村家住宅庭園。その作庭の根幹に迫る。

歴史講演会
10月29日(日) 14:30～16:00 ※入場制限する場合がございます
講師／植松 三十里（うえまつ みどり） 氏（歴史小説家）
演題／家康と秀康の親子をめぐる謎
なぜ秀康は浜松城内ではなく、中村家で生まれたのか。
なぜ2度も養子に出されたのか。関ヶ原に参戦しなかったにもかかわらず、なぜ諸大名を上まわる加増を受けられたのか。
なぜ結城秀康の一般評価は高くないのか。
家康の次男だからこその謎を探る。

〈プロフィール〉 静岡市出身。東京女子大学史学科卒業後、婦人画報社編集局入社。建築関係のライターなどを経て、平成15年「桑港にて」で歴史文学賞受賞。平成21年「群青 日本海軍の礎を築いた男」で新田次郎文学賞受賞。同年「彫残二人」で中山義秀文学賞受賞。福井新聞に連載した「家康の子」（中公文庫）など歴史小説の著書多数。近著「家康を愛した女たち」（集英社文庫）が好評。

中村家ゆかりのポップスシンガー

ERIKO 凱旋ミニコンサート
10月28日(土) 14:00～15:00 ※入場制限する場合がございます
「The Roots vol.3 ～和火を探して～」

ERIKOのルーツである国の重要文化財中村家住宅に魂の歌が響く。ご先祖様たちを偲びつつ、いのちの繋がりに感謝と祈りを込めてお届けするミニコンサート。

〈プロフィール〉 シンガー、浜松市（雄踏町）出身。2020年度浜松市やらまいか大使就任。東京と浜松を拠点に日本全国で歌手活動を展開。
大学卒業後、単身ニューヨークへ渡り5年間を過ごす。帰国後、本格的に歌手の道を歩み始める。2008年12月から現在に至る、まで アルバム7枚、シングル4枚をリリース。愛・いのち・ふるさと・歴史上の人物など後世に継ぎゆくテーマを歌う。和のルーツとグローバルな感性を融合させた ERIKO 独自の世界を発信。時代を問わない音楽性とナッセージと歌声は、一人ひとりを愛と希望で包み、聞く人の心を動かしてきた。
2022年4月より毎週土曜日 24:30～25:00 静岡エフエムにて「ERIKOの音楽と宝探しの夜」をオンエア中！

★雄踏の文化財写真展（雄踏図書館：10月1日～12月3日まで開催）

協賛：(公財)静岡県西部しんきん地域振興財団／THE HAMANAKO／浜名湖競艇企業団／静岡銀行雄踏支店／遠州信用金庫雄踏支店／浜松磐田信用金庫志都呂支店／JAとぴあ浜松雄踏支店／宇布見郵便局／浜名商工会／雄踏地区自治会連合会／ねんりんクラブ雄踏
後援：中日新聞東海本社／静岡新聞社・静岡放送／K-MIX／FM Haro!　協力：領家自治会／息神社／雄踏文化センター（指定管理者 東海ビル管理グループ）／浜松百撰
主催：浜松市／ゆうとうまちづくり協議会

< 50 >

C　区課題解決事業				
No.	事業名	所管課	事業内容及び成果	
1	西区 交通安全 啓発事業	西行政 センター （まちづくり推進）	【日時】	１０月７日（金）、１１月１８日（金）
			【場所】	静岡県立湖南高等学校、交通教育センターレインボー浜名湖
			【内容】	西地域での交通事故削減および防止を目的とし、次の事業を実施した。 ・ サイクルマナー教室 ・ 地域選定高齢者交通安全講習会
			【成果】	事故原因や事故の危険性を当事者目線で捉えてもらうことができ、交通マナーや交通安全に関する意識の向上を図ることができた。
	参考 ☞ P45		【執行額】	775,500円
2	健康寿命延伸 啓発事業	中央健康 づくり センター	【時期】	４月～３月
			【場所】	西行政センター、旧西区内協働センター、西地域内店舗ほか
			【内容】	西行政センター市民ホールで展示会を開催する。食de元気応援店や協働センター、イベント等での啓発活動を行う。
			【成果】	区民が食育や生活習慣病予防等の重要性の認識を深めるきっかけづくりとすることができた。
	参考 ☞ P47		【執行額】	194,590円
3	表浜防風林 再生事業	舞阪支所	【日時】	１１月
			【場所】	舞阪保健センター南側に隣接する防風林地内
			【内容】	草を刈り、土壌改良を行った後に、松くい虫に抵抗性のある松及び広葉樹を植樹した。 （植樹内容）クロマツ14本、アラカシ14本、スダジイ13本
			【成果】	植樹を行い、防風林を一部再生した。
	参考 ☞ P49		【執行額】	881,800円
4	みんなが 住みよい 西区 セミナー 事業	西行政 センター	【日時】	５月～１２月
			【場所】	西行政センター、オイスカ浜松国際高校
			【内容】	・ 西地域内の協働センターまつりにて、ＵＤに関する物品を展示し、ＵＤの情報提供を行った。 ・ 西地域内の小学生を対象としたＵＤ学習会をＵＤ設備のある西行政センターや協働センターにて開催した。 ・ 講師を迎え、男女共同参画などについてのセミナーを行った。
			【成果】	・ 実際にＵＤ製品に触れてもらったり、協働センター内のＵＤ探検を行ったことで、ＵＤに関して興味や関心をもってもらう機会をつくることができた。 ・ オイスカ浜松国際高等学校の全校生徒を対象に、「多様性」や「セクシャルマイノリティ（性的少数者）」について学ぶ講座を開催し、性的指向や性自認について理解を深めることができた。
	参考 ☞ P50		【執行額】	67,627円

No. 1

西区交通安全啓発事業

【委託先】株式会社ホンダレインボーモータースクール
交通教育センターレインボー浜名湖

【委託金額】775,500 円

（１）「高校生サイクルマナー教室」

【日　時】令和５年９月 19 日（火）15：20～16：10
場所：静岡県立浜松湖南高等学校
【参加者】高校生（1 年生）320 名、交通安全協会、西区まちづくり推進課
【内　容】ケーススタディ①（自動車×自転車）巻き込まれ事故、右直事故
ケーススタディ②（自転車×歩行者）出会い頭事故
反応制御実技（自転車の危険性について反応ブレーキ体験）

自動車の死角について

反応ブレーキ体験

（２）「地域選定型高齢者交通安全講習会」

【日　時】　令和５年 11 月 17 日（金）9：00～12：00

場所：交通教育センターレインボー浜名湖（北区細江町気賀 5200-5）

【参加者】　伊佐見地区高齢者 23 名、西警察署、交通安全協会、西区まちづくり推進課

【内　容】　交通事故状況講話（5 分間）

体験型講習（150 分間）

・交通事故ケーススタディ（高齢者に多い交通事故の特徴と防止策）

・夜間視認性確認（反射材の効果体験）

・自動車のブレーキ反応速度や停止距離の測定

・自動車安全装置体験（自動ブレーキ等の体験）

自動車の停止距離
（滑りやすい路面）

サポートカー体験乗車

No. 2

11/3 イオン浜松志都呂店啓発イベント　「カラダにいいこと始めよう『いいら！減塩』in 西区」

行政センター市民ホール、協働センターでの啓発

No. 3

表浜防風林再生事業

西区ＵＤ学習会

実 施 日：令和５年６月 28 日（水）　午後１時 45 時～午後３時 00 分
場　　所：庄内協働センター　体育館ほか
参 加 人：庄内学園４年生　62 人（＋先生２人）

▲あいさつの様子

▲ＵＤ探検の様子

▲ＵＤ製品展示の様子

▲ピクトグラムクイズの様子

「みんなが住みよい西区セミナー」

日　時：令和５年１０月３１日（火）１３時３０分～１５時
場　所：オイスカ浜松国際高等学校　体育館
対　象：オイスカ浜松国際高等学校　全校生徒４２７名
テーマ：「ＬＧＢＴＱ＋」

▲セミナーの様子

▲セミナーの様子

< 60 >

D　区課題解決事業（協働センターを核とした地域課題解決事業）				
No.	事業名	所管課	事業内容及び成果	
1	篠原地区 ボッチャ大会 ～３世代交流 事業～	篠原協働 センター	【 日 時 】	１０月１５日（日）１２時～１６時３０分
			【 場 所 】	篠原協働センター
			【 内 容 】	＜事業の概要＞ 次の実施形式でボッチャ大会を開催した。 ・チーム編成　　子供世代・親世代・シニア世代を組み合わせて、6人でチームを編成 ・予選　　リーグ戦（24チームが4チームに分かれ6リーグで実施） ・決勝　　トーナメント（全チーム予選リーグの順位により出場） ＜地域と協働した内容＞ ・地域の団体で「地域力向上推進委員会」を結成し、事業内容を検討した。 **※「地域力向上推進委員会」は「篠原地区自治会連合会」、「篠原地区社会福祉協議会」、「篠原地区青少年健全育成会」、「篠原校区体育振興会」及び「篠原地区民生委員児童委員協議会」により構成。** ・「地域力向上推進委員会」に事業の企画運営を委託し、事業を実施した。 ・地元中学生ボランティアによる大会運営の補助。 ・地域住民から参加者を募り、大会を実施した。
			【 成 果 】	・ 参加者の最大想定人数144人に対して、当日参加者150人（従事者9人含む）と多くの住民の参加があった。 ※参加者の内訳：子供世代32人、親世代41人（うち従事者5人）、シニア世代77人（うち従事者4人） ・ 人数構成はシニア世代が多かったが、子供世代、親世代はほぼ同数で３世代交流が図られ、地域コミュニティ向上の契機となった。
	参考 ☞ P55		【執行額】	386,320円
2	浜名湖 ナカノシマ いろどり事業	舞阪支所	【　日　】	１１月８日（水）
			【 場 所 】	浜名湖中之島
			【 内 容 】	・ 潮風に強く、夏に青や水色の花が咲くヒメアガパンサスの植栽を行った。 （１）（西側：16株/36箇所　計576株　花の会交流事業） （２）（東側：16株/21箇所　計336株　事業者） ・ 花の会7団体及び庄内学園の協力を得て、植栽を実施した。
			【 成 果 】	・ ヤシの木の伐採後の土地にヒメアガパンサスを植栽したことで、中之島の景観改善を図ることができた。 ・ 次の78人の参加により植栽を実施し、交流を図った。 ・「舞阪町花の会」　29人 ・「花咲くゆうとうネットワークⅡ」　1人 ・「庄内地区沿道花飾りの会」　6人 ・「フラワータウン和地」　5人 ・「庄内学園」　10人 ・湖西市花の会「なすび会」「元町公園花の会」「新居町花の会」　12人 ・ＥＲＩＫＯさん ・浜松市議　1人 ・職員　13人
	参考 ☞ P57		【執行額】	705,800円

No. 1

～３世代交流事業～　篠原地区ボッチャ大会

会場設営（競技コート）

会場設営（参加者用椅子）

自治会役員による受付

開会式の司会進行は中学生ボランティア

体育振興会・社会福祉協議会が審判等を担当

閉会式・表彰式

３世代でコートを囲んで、競技が行われました

浜名湖ナカノシマいろどり事業

No. 2

仲井区長

小泉Ｇ長

ERIKO

松下市議

参加者による手植え

庄内学園の児童

閉会式

協力：なすび会、元町公園花の会、新居町花の会、舞阪町花の会、花咲くゆうとうネットワークⅡ、
庄内地区沿道花飾りの会、フラワータウン和地、庄内学園

第９号様式

資料３

区 協 議 会

区　　分	□諮問事項　　□協議事項　　■報告事項				
件　　名	令和６年度中央区区政運営方針について				
事業の概要 （背景、経緯、 現状、課題等）	区政運営方針とは、区民の皆様とともに地域の課題を解決し、市民サービスの向上や暮らしやすい地域づくりを進めるため、区長が区政運営の基本的な方針、区の取組課題等を毎年度区民の皆様に公表するものです。				
対象の区協議会	浜松市中央区協議会西地域分科会				
内　　容	詳細は別紙「2024 年度中央区区政運営方針」のとおり				
備　考 （答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など）					
担当課	西行政センター	担当者	渡辺　貴史	電話	597-1112